

乳腺：DTX+Per+Tmab B 法／3wks（※Adj）

点滴・のみ薬

順序	輸液	作用薬	効果	点滴時間
①	(のみ薬)	レスタミン錠 5錠	アレルギー予防	
	生理食塩液 50mL	デキサート ガスター	吐き気止め アレルギー予防	30分
②	5%ブドウ糖液 250mL	ドセタキセル	抗がん剤	1時間
③	生理食塩液 50mL		ルートを洗い流す	15分
④	生理食塩液 250mL	パージェタ	抗がん剤	1時間 (⇒30分)
⑤	生理食塩液 100mL (2回目以降 50mL)		ルートを洗い流す	1時間 (⇒30分)
⑥	生理食塩液 250mL	トラスツマブ	抗がん剤	90分 (⇒30分)
⑦	生理食塩液 50mL		血管を洗い流す (炎症を予防)	15分
合計	1000mL (2回目以降 950mL)	点滴時間 およそ 5時間 30分 (2回目以降 3時間 30分)		

※ 薬の量はあなたの体格(身長・体重)によって決まります。
※ パージェタ・ハーセプチンは、1回目は薬の効果が早く出るように少量を多くして投与します。

今後の予定

○ドセタキセルは、3週間ごとに合計4回点滴します。
○トラスツマブ、パージェタは、3週間ごとに合計18回（1年間）点滴します。
○症状によって変更することがあります。

点滴 | ■□□□□□ | □□□□□□ | □□□□□□ |

主な副作用

時期	副作用	起こりやすさ	時期	副作用	起こりやすさ
数日	吐き気・嘔吐	★★	数週間以降	貧血	★★
数日から数週間	口内炎	★		発疹・皮膚乾燥	★
	食欲不振	★★		手足のむくみ	★★
	下痢	★★		関節痛・筋肉痛	★★
	便秘	★		におい・味覚の変化	★
	脱毛	★★★		起こりやすさの目安 ★ 30%未満 ★★ 30%～60% ★★★ 60%以上	
	白血球減少	★★★			
	出血	★			

※ 副作用の出現の時期や程度には個人差があります。
投与後 1週間～2週間：白血球減少および好中球減少
投与後 3週間：血小板減少

注意点

初回投与時は、パージェタ投与終了時、4時間後、8時間後の3回、カロナール錠を服用します

○レスタミンの副作用で眠気が出る場合があります。
（外来で治療を受けるとき、車の運転はお避けください）
○パージェタおよびトラスツマブの点滴後 24 時間（特に⑥点滴後最初の 2 時間）は過敏症や悪寒などが起こることがあります。
○ごくまれに心臓に負担がかかることがあります。
○点滴中は点滴が漏れてないか気をつけてください。
○その他、何か変わったことがあったら、すぐにお知らせください。

※退院時には発熱した場合（38℃以上）の抗生剤の飲み薬をお渡しします。